



はじめに

このマニュアルは、次のアプリケーションから Cisco Prime Collaboration (Prime Collaboration) に移行する方法を説明します。

- Cisco Prime Unified Operations Manager (Prime UOM) : スタンドアロン、共存、および混在インストール。
- Cisco Prime Unified Service Monitor (Prime USM) : 共存および混在インストール。
- Cisco Prime Collaboration Manager (Prime CM)
- Cisco Prime Unified Provisioning Manager (Prime UPM) : 簡易および拡張インストール。

移行の手順に加えて、このマニュアルには、Prime Collaboration の重要な機能の場所に関する情報が記載されています。

このマニュアルは Cisco Prime Collaboration 9.0 の複数の短いマニュアルの 1 冊です。Prime Collaboration に関するその他の作業、たとえばユーザ管理、デバイス管理、音声プロビジョニング、ネットワーク モニタリング、障害管理などを実行するには、『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Documentation Overview](#)』に記載されている、すべてのマニュアルのリストを参照してください。

対象読者

このマニュアルは、インフラストラクチャ ベースのリアルタイム コラボレーション サービス、たとえばビデオ (TelePresence) やテレフォニー (VoIP) の設定およびメンテナンス (エンドポイント、管理サーバ、サービス固有ネットワーク デバイスなどが含まれます) を担当する音声およびビデオのエンジニアを対象としています。

Prime Collaboration アプリケーションは仮想サーバに展開されます。エンジニアは仮想サーバの設定と Linux コマンドを理解している必要があります。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

